

**G20エネルギー大臣会合共同声明
北京コミュニケ（概要）
（2016年6月30日）**

エネルギーアクセスの強化

- エネルギーアクセスに関するG20の焦点を、サブサハラ・アフリカを超えて、約5億人が電力を利用できないアジア太平洋地域に拡大。
- 「アジア太平洋地域でのエネルギーアクセスの強化：主要課題とG20自主的協力行動計画」を採択。投資、ファイナンス、イノベーション、組織的能力構築等がアジア太平洋地域におけるユニバーサル・エネルギーアクセスを実現する上での重要課題であることを認識。

よりクリーンなエネルギーの未来

- 経済成長の促進と同時にクリーンエネルギーの生産及び消費モデルの追求を奨励。
- 再生可能エネルギー、天然ガス、原子力、先進的でよりクリーンな化石燃料技術は、多様なエネルギー状況を有する国々にとって有意義な選択肢であることを認識。

（再生可能エネルギー）

- ・「再生可能エネルギーに関するG20自主的行動計画」を採択。G20加盟国が、再エネに係るエネルギー戦略を策定し、目標達成の具体的な行動計画を提案することを奨励。再エネ投資の円滑化を奨励。
- ・再エネ技術のコスト削減及び変動性のある再エネの電力系統への統合は重要な課題。再エネの割合を拡大するため、スマートグリッド、蓄電、電気自動車等の開発と普及を促進。

（原子力）

- ・原子力の利用を選択する全ての国に対し、安全性、核セキュリティ、核不拡散において最高レベルの水準を確保し、その専門的な知見や経験を共有することを要請。
- ・原子力政策に対する社会的理解を高めるために、科学的知見に基づく対話と透明性の向上が重要。

（天然ガス）

- ・天然ガスは世界のエネルギー供給において不可欠な部分となっていることに留意。世界レベルでLNGを含むガス・サプライ・チェーンを戦略的に俯瞰しつつ、よりよく機能し、透明で、競争的なガス市場の向上に努める。

(先進的でよりクリーンな化石燃料技術)

- 環境への影響に対処するため、化石燃料の生産・運輸・消費に関して利用可能な最善の技術及び実践を活用することが重要。

エネルギー効率の向上

- 省エネは、G20の長期的な優先課題。「G20エネルギー効率リーディング・プログラム（EELP）」を採択し、省エネ促進を先導。
- 車輜、ネットワーク機器、ファイナンス、建築、産業部門のエネルギー管理、発電という6つの主要分野における自主的な国際協調の進展を歓迎。

グローバルエネルギーアーキテクチャー

- 世界のエネルギー事情の変化する現実をより反映していくためには、グローバルエネルギーアーキテクチャーが進化し続けることが必要。

エネルギー安全保障

- エネルギープロジェクトに対する継続的な投資は、将来のエネルギー安全保障を確保し、不安定な価格の急騰を防ぐために、極めて重要。

非効率な化石燃料補助金

- 無駄な消費を助長する非効率な化石燃料補助金を合理化し、中期的には段階的に廃止することを再確認し、更なる進展に努める。

市場透明性

- 透明な市場は、エネルギー安全保障及び投資の促進にとって重要な必要条件。精度の高いエネルギー・データの収集・普及を更に奨励し、能力構築支援を強化することにより、国際機関共同データ・イニシアティブ（JODI）を更に強化することを確約。

(了)